

保護者の皆様

高槻市立郡家幼稚園

令和5年度 保護者アンケートのご報告

保護者の皆様には、平素より本園の教育活動や園運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、令和5年度保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。今年度は自由記述欄を設け、要望などを聞かせていただく形式にしたことで、具体的な思いが寄せられました。保護者の皆様の幼稚園教育に対する願いと共に、一人一人のお子さまが大切に育てられていることを感じる事ができました。

今後もお子様の成長を願い、幼稚園・家庭・地域がともに手をつなぎ、幼稚園教育の充実に努力していきたいと思えます。つきましては、教育アンケートご協力のお礼と報告をさせていただきます。

回収率	100%	・・・調査人数(13人)	回収人数(13人)
-----	------	--------------	-----------

【お子様について】

「幼稚園に行くことが楽しい」「入園後友達とよく遊ぶようになった」では「思う」「ややそう思う」の肯定的な回答となり、子どもたちが幼稚園に来ることや、友達とのかかわりを楽しいと感じているということが、何よりも嬉しく思います。

「自分のことを自分でしようとする」「して良いこと・悪いことを考えて行動しようとするようになってきた」「約束を守って遊ぼうとすることができる」「ありがとうごめんなさいと言える」などの、社会性や規範意識が育ちにつながる問いに対しては、肯定的な意見とそう思わないという回答が見受けられました。子どもたちが自分でできるように大人がモデルとなったり、頑張った時には認めたりしながら、子どもを信じて見守ることの大切さを改めて感じます。

【保護者の方について】

全体的に肯定的な回答をいただきました。「子育ては楽しい」「子育ての相談相手(協力者)がいる」の問いからは、人とのつながりを大切にしながら子育てをしておられることがうかがえました。「子どもとの触れ合いの時間」「挨拶や身の回りのこと、基本的な生活習慣」などは、毎日の積み重ねが、子どもたちの成長につながります。それらを皆さんが意識されているのだと読み取ることができました。子ども達の情緒の安定はここからきているのだと感じることができました。

「PTA活動や保護者会への積極的参加」「幼稚園の行事や教育活動に協力」などでは、様々な回答が寄せられました。活動の取り組み方や参加の仕方の工夫が必要と感じています。保護者同士のつながりの場を大切にするとともに、交流の在り方はその年や時期により、どのような形が皆さんに寄り添えるのかを考えていくことが必要だと感じました。

「預かり保育や延長保育を積極的に利用したい」では、「思う」「そう思う」が92%で、そのニーズを強く感じました。高槻市が子育て支援の一環として行っている「なかよしタイム」は、月1回の実施ですので、そのニーズに対応できていないのが現状であります。時代の流れとともに、長時間保育が求められていると感じました。

【園について】

「遊びを中心に実体験を大切にした教育活動に取り組んでいる」では、皆様に「思う」と回答をいただきました。目に見えにくい部分ではありますが、幼稚園教育の根幹となる部分ですので、励みになります。今後も研鑽を重ねていきたいと改めて感じさせられました。

「避難訓練や安全指導（交通安全・防犯）などで子どもが安全に対する意識や習慣が身につくように努めているか」の問いは、肯定的な回答でした。しかしこれで良とするのではなく、1月1日の地震をはじめ、予測できないことへの備えや対応の仕方など、幼稚園としてもしっかり考えながら、日ごろから安全に過ごすための方法を伝え、自分の身の守り方を継続して伝えていきたいと思えます。

今後子ども達にとって、より良い園生活が送れるように、教職員一同奮起してまいります。今後ご理解、ご支援よろしくお願ひいたします。

【本園を選択された理由について】※複数回答可

自宅から近いという回答が85%と一番多く、地域の中の幼稚園であることが改めてわかりました。

「保育内容が良さ」や「教師の質が高さ」への回答については、来年度への課題と受けとめ、一人一人の教師の人間力や園全体のチーム力をさらに高めていき、今後も努力を怠らず、幼稚園教諭としての質の向上に努めてまいりたいと思っております。

【自由記述】 ※複数意見があった項目は集約し載せています。

幼稚園への希望など

- ・保育参加、保育参観など、保護者参加の行事が多い。
→子どもたちが幼稚園でどのように過ごしているのか、友達や教師とのかかわりの中で、どのようなことを学んでいるのかを伝える場と考え、実施をしています。これらが継続できる回数や実施の仕方などについて、工夫していきたいと思えます。
- ・子どもが友達の名前を覚えにくいようなので、覚えられるような取り組みをしてほしい。
→日々の生活の中で、友達や教師と言葉を交わし生活をしています。その中で、子ども達の名前も呼び合っています。今後も意識をしていきたいと思えます。
- ・PTA活動について
→どのような活動をしているのか、曖昧でわかりにくいというご意見が寄せられました。子ども達の育ちを幼稚園と保護者で見守っていくことを大切に取り組んでいます。その年に応じた活動内容を、保護者の皆様と共に考えていきたいと思えます。

作品展の感想及び日々感じていることなど

- ・作品展ではこんなことができるのだと感動し、作ったもので遊ぶ姿が見られたのは嬉しかった。
- ・作品展での親子制作（特にプラバン）は楽しかった。
- ・子どもの「やりたい」という思いを、先生が汲み取っていると作品から感じる事ができた。
- ・個性豊かな作品があり、絵も上手になっていて見ていて楽しかった。
- ・年長児の劇を“アレ”といいながら隠しながら準備していて、ほほえましく感じ、幼稚園がわくわくする場であることを嬉しく思う。劇の内容も一生懸命考えたことが伝わった。
- ・幼稚園に喜んで通い、ボランティアさんにも見守ってもらい幸せだと感じている。
- ・保護者の方と出会い、触れ合うことで気づきや癒しを感じ、子育てを頑張ろうと思う。
- ・行事では工夫を凝らし、子どもの自然な姿を見ることが楽しみである。
- ・得意なことを伸ばしてくれ、自信が付き、苦手なことにも挑戦するようになった。
- ・子どものスモールステップを応援してくれ、共に喜んでくれる先生に感謝している。
- ・季節を大切にし、自然を取り入れ家庭では経験できないことを取り入れてくれ、楽しんでいる。

☆その他多数のご意見をありがとうございました。今後の園運営に反映させていただきます。

今年度の幼稚園評議員の皆様へ、評議員会当日に保育参観をしていただきました。
子ども達の姿を見て感じたことと、アンケートの結果を報告し、ご意見をいただきました。
今後の園運営に、活かしていきたいと思っています。

☆評議員の紹介☆

(高槻市立郡家小学校校長)

(大阪府幼児教育センター幼児教育コーディネーター・元高槻市立幼稚園長)

(郡家地区主任児童委員)

<評議員の皆様のご意見>

- 「遊びを中心に実体験を大切にした教育活動に取り組んでいる」の回答では、100%そう思うという回答結果に感心させられた。当日の遊びの姿からも、伸びやかさや子どもらしさを感じることができた。小学校では「個別最適な学び」を進めているが、子ども達が自分でしたい遊びを選択し、自分で決めることができる幼稚園教育は、その原点であると感じた。
- 異年齢児学級保育は子どもたちに彩りを与える。4歳児は年上の友達に憧れをもち、年上の友達から声をかけてもらうことも嬉しく思うのではないだろうか。また5歳児は年下の友達とかかわることで、優しくしてあげたいという気持ちが生まれると思う。
- 今年は小学校と幼稚園の交流が多数あった。小学校は同学年での生活で、個性が固定化されがちだが、幼稚園の子どもとかかわることで、自分に自信がもてるようになったと感じる。小学校、幼稚園共に刺激になり、子どもの育ちにつながるので、今後も交流活動を続けていけたらよいと思う。
- 本園を選んだ理由として、自宅から近い場所に幼稚園があることはもちろんだが、この園に通わせたいという雰囲気があるのではないかと感じる。地域に幼稚園があることはいいことである。地域に根ざした幼稚園の役割として、地域行事への参加、未就園児や地域住民とのかかわりなどを積極的に行うことが望ましい。
- 教師の質については、入園前には見えにくい面がある。入園後、保育や子どもの姿から保護者が感じていくのではないか。
- 幼稚園の保育時間は、今の時代には厳しさも感じる。保育時間は市の方針で変えることはできないが、行事や参観、PTA活動などは、工夫をしていくことが大切である。
- 子育てサロンのように、必要な人が必要な時に利用できる場をつくることは、保護者が選択できてよいと思う。
- 幼稚園には未来を切り開いていく子どもを育ててほしい。「〇〇でないといけない」ではなく、子ども達が自分で考え行動する力をつけてほしい。

以上ご意見をいただきました。

成果と課題を整理し、今後の園運営に生かしたいと思います。

皆様、ありがとうございました。

